

むつごろう祭について

今年も「むつごろう祭」が前夜祭 10月9日(金)、本祭 10日(土)・11日(日)に行われました。今回は、台風の接近や新型インフルエンザの流行と、飲酒厳禁(準備期間中の学内での飲酒も禁止)となつて初めての開催でしたが、晴天にも恵まれ多くの方々にも来場していただき、大きなトラブルもなく終了したことを学生サービス課としてもホツとしております。学園祭の実行委員会の皆さんご苦労様でした。

先日行われた反省会では、濱崎医学部長から、医学部学生として、どのような企画内容がふさわしいのか十分考慮すること 企画内容は従前のものをパターン化するのではなく、やるべきことを考えて欲しいこと 学園祭で燃え尽きて学生の本分である学業を疎かにしないことの3点について意見が述べられました。

毎年のことながら「ミス医大」では「報道関係者はご遠慮ください」とのアナウンスがありましたが、見られて困るような出し物をステージ上で公然とやることに問題はないのか、むつごろう祭も30回を過ぎ、医学部の学生が開催する学園祭にふさわしい企画や、学生だけでなく周囲の皆さんにも喜んでいただける企画はどういうものなのかを考え、問題視される出し物や過去からのパターン化された出し物はそろそろ考え直す時期にあるのではないかと思います。

また、昨年に続きローションを大量に使用した企画が行われ、浴槽使用について大変なお叱りを受けています(来年からは使用禁止)。駐車場閉鎖に伴う臨時駐車場の設置や大量のゴミ片付けなど職員の皆さんにも迷惑を掛けていることも忘れずに、少しずつでも改善していただければと願っています。

さらに、学園祭の準備段階から終了後まで授業に支障が出ており、欠席は勿論、出席していても居眠りするなど、学業面における学生の本分を忘れているのではとの指摘も受けています。

今後の「むつごろう祭」はどうすれば良いのか、大学統合後も鍋島キャンパスで単独開催する意義は何なのかを実行委員会を中心に全学生で十分検討願いたいと思います。あくまでも学園祭は学生が主体となつて行うお祭りですので・・・。(学生サービス課)

マッチングの結果発表

平成 21 年 10 月 29 日、午後 2 時、平成 21 年度(平成 22 年度採用予定)マッチングの結果が判明しました。10 月に新卒後臨床研修センターが開所し、昨年より研修医数が増えるのではないかと予想されていましたが、結果は 44 名(定員 56 名)と昨年と同数で少し残念でした。卒後臨床研修センターとしては、(1)コミュニケーション能力(2)全身を管理できる能力(3)あらゆる診療科に共通する基本的な臨床技能の修得を 3 つの柱とし、教育企画の充実に取り組んでおりますが、現在、新センターでさまざまな企画が進行しており、来年は研修医数の増加につながるのではないかと考えています。(江村正)

佐賀大学医学部附属病院関連初期臨床研修プログラムマッチング結果(プログラム別)

プログラム名称	定員	マッチ者数	空き定員
プログラムA1 (好生館/佐賀大学)	6	6	0
プログラムA2 (佐賀大学/好生館)	6	4	2
プログラムB1 (聖マリア/佐賀大学)	2	0	2
プログラムB2 (佐賀大学/聖マリア)	2	0	2
プログラムC2 (佐賀大学/佐賀病院)	2	0	2
プログラムD1 (唐津日赤/佐賀大学)	2	0	2
プログラムF2 (佐賀大学/高木病院)	2	2	0
プログラムG2 (佐賀大学/嬉野)	2	1	1
プログラムH2 (佐賀大学/社保)	2	1	1
プログラムI (佐賀大学/佐賀大学)	26	26	0
小児科特別プログラム	2	2	0
産科特別プログラム	2	2	0
全プログラム合計	56	44	12

本院のマッチ状況の推移

	定員(人)	応募者(人)	中間公表	マッチ数(人)	マッチ率(%)
平成15年度	56	87	36	52	92.9
平成16年度	56	74	38	50	89.3
平成17年度	56	88	22	34	60.7
平成18年度	56	72	27	36	64.3
平成19年度	56	77	38	49	87.5
平成20年度	56	69	30	44	78.6

教育広報部会

小田康友、池田豊子、市場正良、吉田和代、江村正、藤田君支、阿部博美
ご意見をお待ちしています(oday@cc.saga-u.ac.jp)

